

## ACP で各関係者に期待される役割

## &lt;行政&gt;

ライフステージ：医療や介護サービスを利用しない時期

- 啓発（学校教育、リーフレット等の作成／配布、市民公開講座など）
- 相談窓口の整備
- 意思表示ツールの作成（価値観シートや代理意思決定者の指名を含む）
- モデル事業の実施
- 地域包括ケアシステムの活用（一定のルール作りや共通ツールの利用）

## &lt;医療&gt;

ライフステージ：医療・介護サービス利用時、終末期

- 病状に応じた治療や療養、看取りの説明（選択肢の提示）
- 病院・医院・施設・在宅間の連携（情報共有など）
- 啓発（リーフレットの配布、患者会など）

## &lt;介護&gt;

ライフステージ：医療・介護サービス利用時、終末期

- 病院・医院・施設・在宅間の連携（情報共有など）
- 終末期の精神面や生活面での希望の聞き取り／支援
- 患者と医療職とのコミュニケーション支援

ACP について相談する相手は、患者もしくは家族が決めることであるため、どの関係者に ACP の中心的な役割を担ってもらおうという考え方ではなく、全ての関係者で関与する。

全ての関係者が、患者と家族の交流を促進するために働きかける。

全市的な普及を考えると、行政、かかりつけ医、ケアマネジャーが重要な役割を担い得る。